

部署紹介

3東病棟（外科病棟）

手術目的で入院される方、化学療法目的で入院される方が多い病棟です。手術前～手術後のケアや、ストマ管理などを学ぶことができます。

5東病棟（整形外科・眼科）

整形外科や眼科の手術を目的とした患者が多く、術前の看護から離床期のリハビリまで関わりながら、多職種連携も学ぶことができます。

7西病棟（消化器内科）

消化器疾患を中心に検査も多く、多様な疾患を看ています。胃カメラや大腸カメラなどの検査前後の看護、がん患者の化学療法、ESD、胃ろうの管理、終末期ケアなど幅広い看護を学ぶことができる病棟です。

8西病棟（緩和ケア）

名古屋市で初めてできた緩和ケア病棟としての歴史があります。患者様の「生き方」と「逝き方」に寄り添い、ご家族への心配りも看護の一環として行っています。音楽療法や茶話会などボランティアさんの協力を得ながら、大切な時間を過ごしていただけるような関わりを行っています。

手術室

消化器外科・整形・眼科を中心とした手術を行っています

外来

12の診療科を協力して担っています

透析室

午前・午後の2部制で臨床工学技士と協力して業務を行っています

医療福祉

サポートセンター
入院支援・退院支援の看護師、MSWなどが協力して働いています

4西病棟

（小児科・呼吸器内科）

0歳から100歳を超える方まで入院されています。呼吸器内科は主に喘息・COPD・肺炎・肺がんなどの患者が多く、小児科は季節によって流行する感染症や喘息、川崎病などの患者が多いです。保護者の付き添いもありますが、子どもの成長発達にそった看護を実践しています。

6東病棟

（循環器内科・脳神経内科 重症病棟）

循環器内科・脳神経内科を中心とした病棟で心筋梗塞などの虚血性心疾患をはじめ、心不全の患者も多く入院されています。心臓カテーテル検査・アブレーションも毎週実施しています。当院にはICUはありませんが、6階西側のフロアで重症管理が必要な患者さんのケアを行っています。院内で唯一ワンフロア1病棟で運用しており、スタッフも東側・西側を行き来しながら協力して働いています。急変対応も含め、急性期看護をしっかり学べる病棟です。

7東病棟（地域包括医療病棟）

病棟に専従のリハビリ職員も配置され、入院時から退院支援に力を入れています。内科・整形外科を中心に様々な疾患の方が入院されるので、幅広い知識や技術を学ぶことができます。退院支援の看護師やMSW、リハビリ職員、栄養士などと共に、多職種協同で患者様の生活を支援しています。

救急外来

年間救急車は3000台ほど受け入れを行い、地域の二次救急病院としての役割を担っています。スタッフは救急外来、中央処置室、胃腸センター、心臓カテーテル検査室を中心とした放射線検査室など幅広いフィールドで活躍しています。